

消化器内科

胃がんの予防について

国吉病院

消化器内科部長 岡本 博司 さん



ほとんどの胃がんは、ヘリコバクターピロリに持続感染している方に発症します。このためヘリコバクターピロリの感染の有無をチェックし、感染していれば除菌療法を受けることがお勧めです。若いうちに除菌を

行えば大部分の胃がんは予防できると考えられています。中高年の方では除菌療法を行っても完全に胃がんを予防できるわけではありません。生活習慣も胃がんの危険因子であり、塩分の取り過ぎは2

倍程度、喫煙は1.7倍程度に、胃がんのリスクを高めるとする報告があります。飲酒は胃の入り口付近の胃がんのリスクを少し高める可能性がありますが、ほとんどの胃がんとはあまり関係がないようです。野菜や果物、緑茶の摂取は胃がんのリスクを減らすと考えられています。このため、胃がんの予防のためには、禁煙、塩分を控える、野菜や果物をしっかりと摂取するといった生活習慣の改善も重要です。

国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】消化器内科・循環器内科・消化器外科・緩和ケア内科・整形外科・脳神経外科 他